

卒業研究Ⅱ

Graduation Research Ⅱ

薬：G1-02503MY

総合科目 5～6年／前・後期 4単位 必修科目

科目責任者 各卒業研究配属研究室の主任教員

■ 教育目的

薬学の知識を総合的に理解し医療、製薬、保健衛生の様々な分野で貢献するために、研究室に所属し教員の指示を受けながら、研究課題を通して新しいことを発見し、科学的根拠に基づいて問題を解決する姿勢を身につける。さらには、それを生涯にわたって高め続ける態度を養う。

研究活動に必要な、基本的理念、研究分野における研究論文の理解、および研究技能・態度を修得する。

研究課題の達成までのプロセスを体験し、研究活動に必要な基本的知識・技能・態度を修得する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑥】

■ 学習到達目標

1. 研究課題に関連する国内外の研究成果を調査・読解、評価できる。
2. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案できる。
3. 研究活動に係る法令、指針を理解・遵守し、その内容について概説することができる。
4. 研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明することができる。
5. 研究計画に沿って積極的に研究を実施できる。
6. 研究には自立性と独創性が求められていることを知る。
7. 研究の各プロセスを正確に記録し、その結果をまとめる。
8. 研究結果を考察し、評価する。
9. 研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切に質疑応答できる。
10. 研究成果を報告書や論文としてまとめることができる。
11. 研究を通して現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。
12. 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。
13. 基礎から臨床・応用に至る研究の目的と役割について説明できる。

■ 準備学習（予習・復習）

研究態度・課題に取り組む意欲・プレゼンテーション、卒業研究発表会（6年次）、卒業研究論文（6年次）等において総合的に評価する。

■ 授業形態

課題解決型学習、プレゼンテーション、実習・フィールドワーク

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

各卒業研究配属研究室において、ルーブリック評価、卒業研究報告会、卒業研究報告書により総合的に評価する。